

渋谷区総合防災訓練が行われました

代々木公園で、首都直下地震を想定した防災関係機関等活動訓練と参加体験型の渋谷防災フェスが行われました。

8月31日

防災関係機関等活動訓練

町会や自治会を基盤にした防災組織である自主防災組織や関係団体が参加し、発災時から数日後までの状況を時系列で追いながら訓練に取り組みました。

地震発生

地震発生時



▲地震の揺れを再現

地震発生時の身の安全の確保

緊急地震速報と地震発生がアナウンスされ、訓練がスタートし、会場内で一齐にシェイクアウト。起震車を使って地震の揺れを再現し、家具の転倒防止対策の重要性が訴えられました。



▲長谷部区長



▲応急救護

住民による救出救助・応急救護

安否情報に基づいた住民による救出救助活動、^{いっとき}一時集合場所への移動が行われ、負傷者などを地域住民で救うことの大切さを理解しました。



公助をあてにするばかりでなく、自助の意識を大切に、まずは自分や家族の安全を確保しましょう。

◀山本 昭さん
(千駄ヶ谷地区 千駄ヶ谷大通り町会長)

地震直後

発災から数時間



▲消火活動

消防隊などによる市街地延焼火災に対する消火活動

渋谷消防署と渋谷消防団による消火活動のほか、災害救助犬による倒壊家屋の検索活動、担架などを使っての救護所への搬送などが行われ、初期消火の重要性を学びました。



消防団はいざというとき住民の命を守る役割。皆さんが安心して暮らせる安全なまちづくりに貢献します。

◀萩原 英一さん
(渋谷消防団 第三分団)

地震後

発災から半日程度



▲避難所の開設

避難所の開設・運営

ペットとの同行避難、女性の視点に考慮した避難所の開設・運営などを実施しました。応急給水活動、支援物資の受け入れをはじめ、避難所の運営には避難者自身の参加の重要性が周知されました。



いつ起こるか分からない災害に備え、町会など自主防災組織の防災訓練にぜひご参加を。

◀齋藤 秀行さん
(新橋地区 広尾町会長)

発災から数日

8月31日、9月1日

渋谷防災フェス2019

放水体験や、もしものときに必要なアクションを身に付けられる体験エリア、防災について学べるBOSAIストリートなど、さまざまな企画が実施されました。



災害に備えるために

・防災アプリ [渋谷区防災アプリ](#) [検索](#)

渋谷区が発信する各種防災関連情報をリアルタイムに受信できるほか、オフラインでも防災マップを確認できる便利なアプリケーションです。



・家具転倒防止

高齢者のみの世帯や障がいのある人がいる世帯を対象に、家具転倒防止金具の取付、ガラス飛散防止フィルムの貼付、家具の移動を無料で実施します。



▲扉開放防止器具



▲ガラス飛散防止フィルム

☎ 防災課災害対策推進係 (☎ 3463-4475 ㊟ 5458-4923)